

令和元年9月6日公表

農協の自己改革に関するアンケート調査

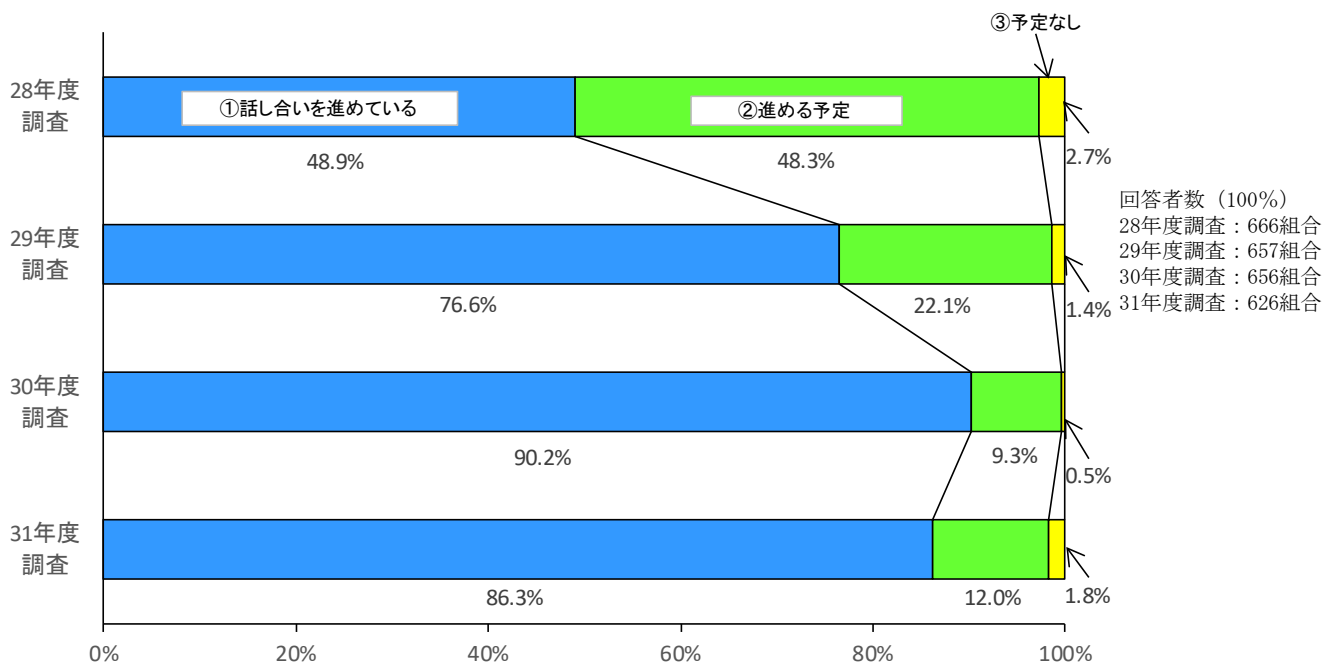
本調査は、農業協同組合（以下「農協」という。）の自己改革の取組状況について、総合農協（自己評価）と認定農業者等（農協に対する評価）を対象に、それぞれ平成28年度・29年度・30年度・31年度に実施したものである。

【調査結果】

I 農協に対する調査

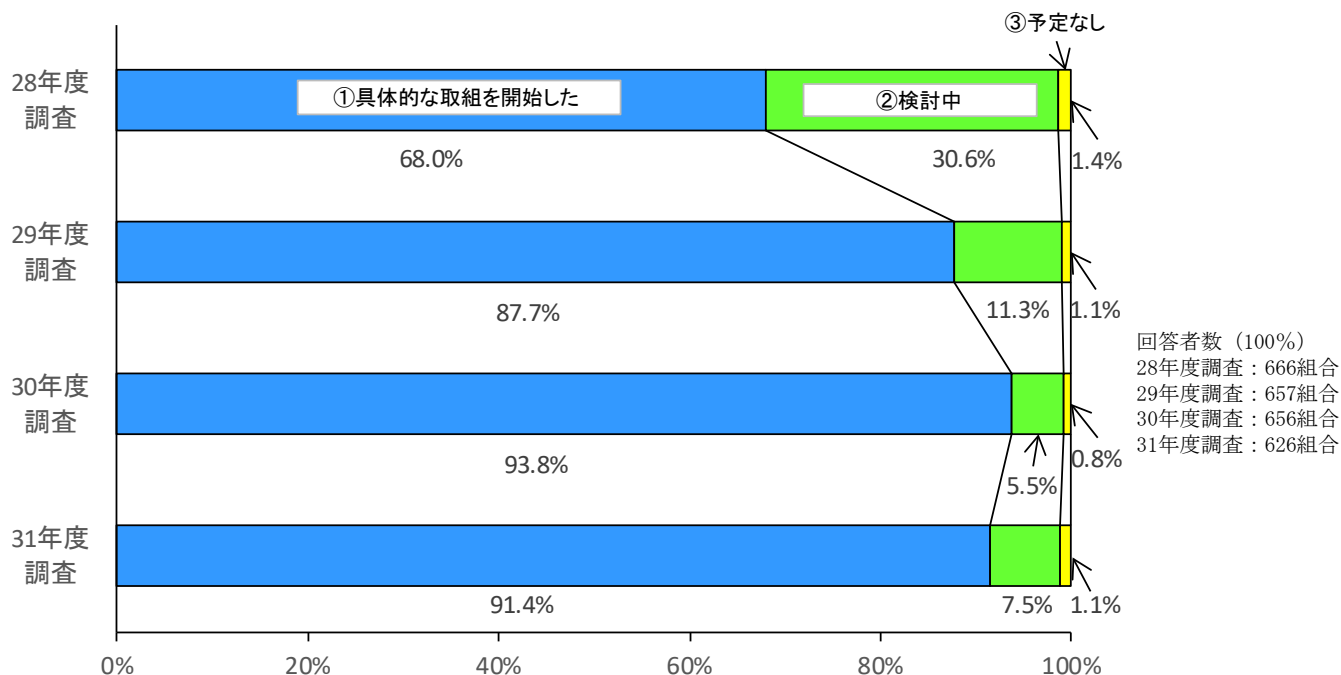
問1 貴JAにおいて、今般の農協改革を契機に、今後のJAの農産物販売事業の進め方や役員の選び方等について、担い手を中心とする組合員とJA役職員の徹底した話し合いを進めていますか。

- ① 今般の農協改革を契機に、話し合いを進めている（又はこれまで行ってきた話し合いを強化した。）。
- ② 今後話し合いを進める予定。
- ③ 話し合いを進める予定はない。



問2 貴JAにおいて、今般の農協改革を契機に、農業者の所得向上に向けて、農産物販売事業の見直しを進めていますか。

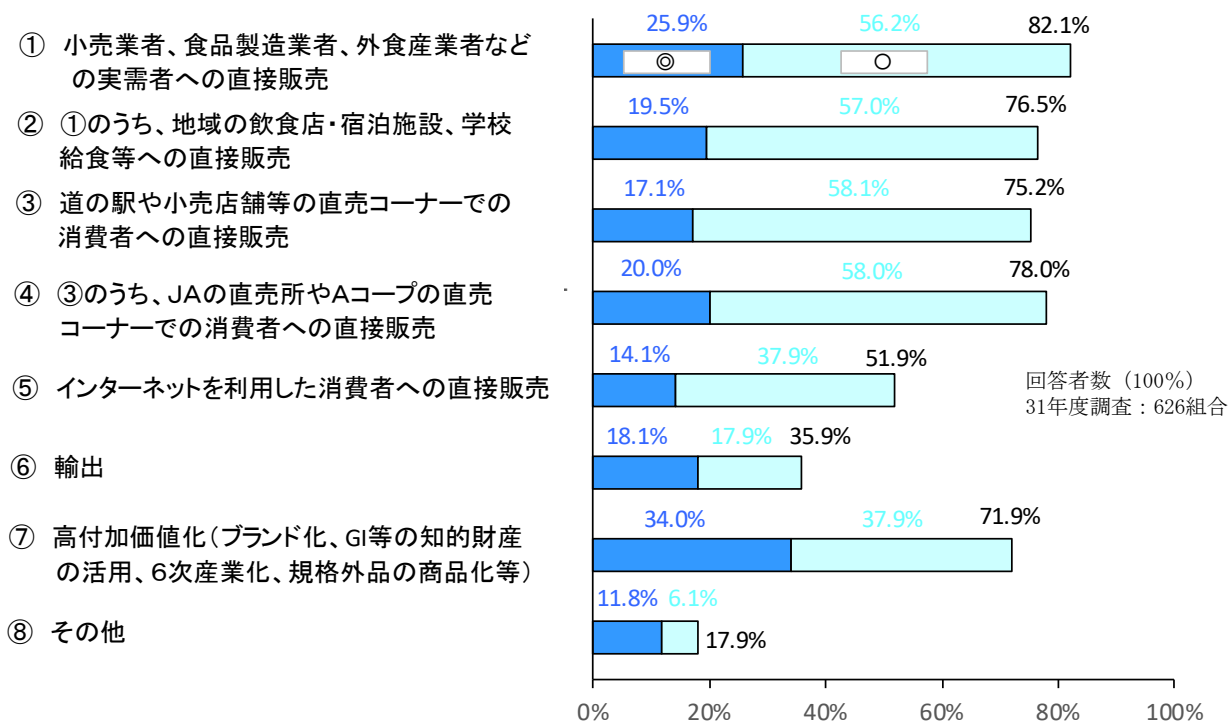
- ① 今般の農協改革を契機に、具体的な取組を開始した（又はこれまでの取組を強化した。）。
- ② 検討を行っているが、具体的な取組には至っていない。
- ③ 検討する予定がない。



問３－１ 農産物販売事業について、農業者の所得向上に向けて、貴ＪＡはどのような取組を行っていますか。農協改革集中推進期間（平成２６年６月～平成３１年５月）より前から取り組んでいるものに「○」を、同期間中に取組を開始又は強化したものに「◎」を記載して下さい。

（１）販路の拡大・付加価値の向上

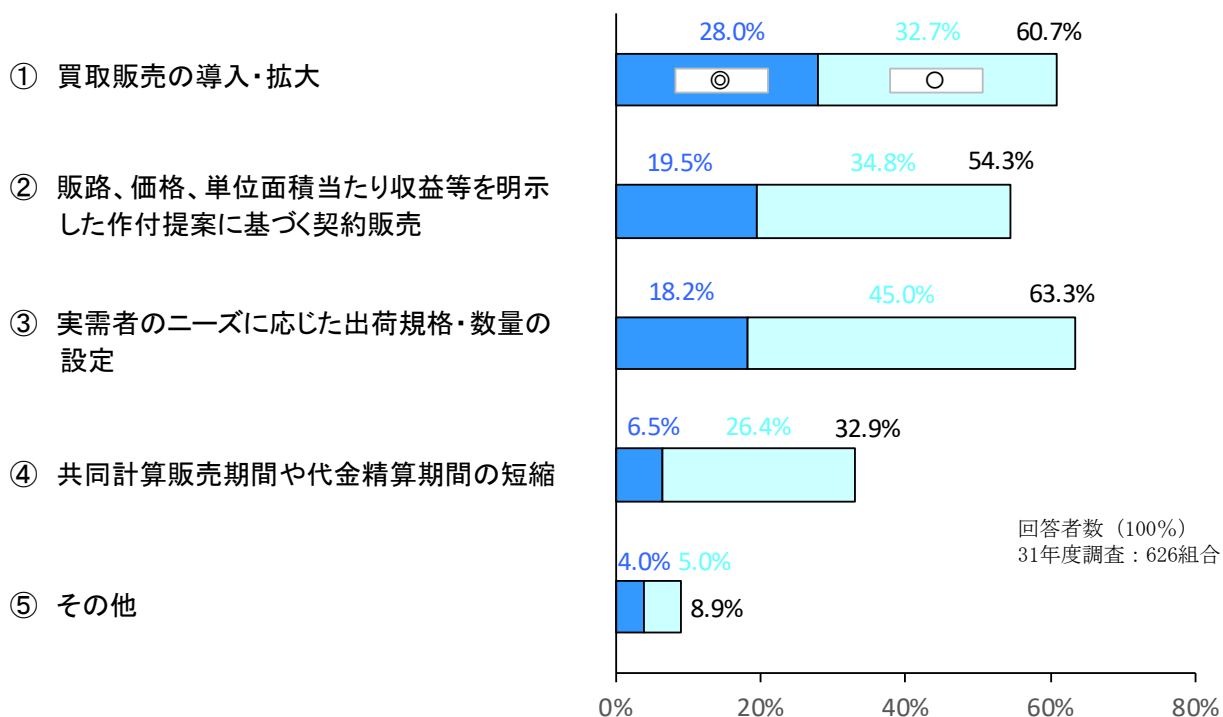
- ① 小売業者、食品製造業者、外食産業者などの実需者への直接販売
- ② ①のうち、地域の飲食店・宿泊施設、学校給食等への直接販売
- ③ 道の駅や小売店舗等の直売コーナーでの消費者への直接販売
- ④ ③のうち、ＪＡの直売所やＡコープの直売コーナーでの消費者への直接販売
- ⑤ インターネットを利用した消費者への直接販売
- ⑥ 輸出
- ⑦ 高付加価値化（ブランド化、GI等の知的財産の活用、６次産業化、規格外品の商品化等）
- ⑧ その他



問 3 - 1

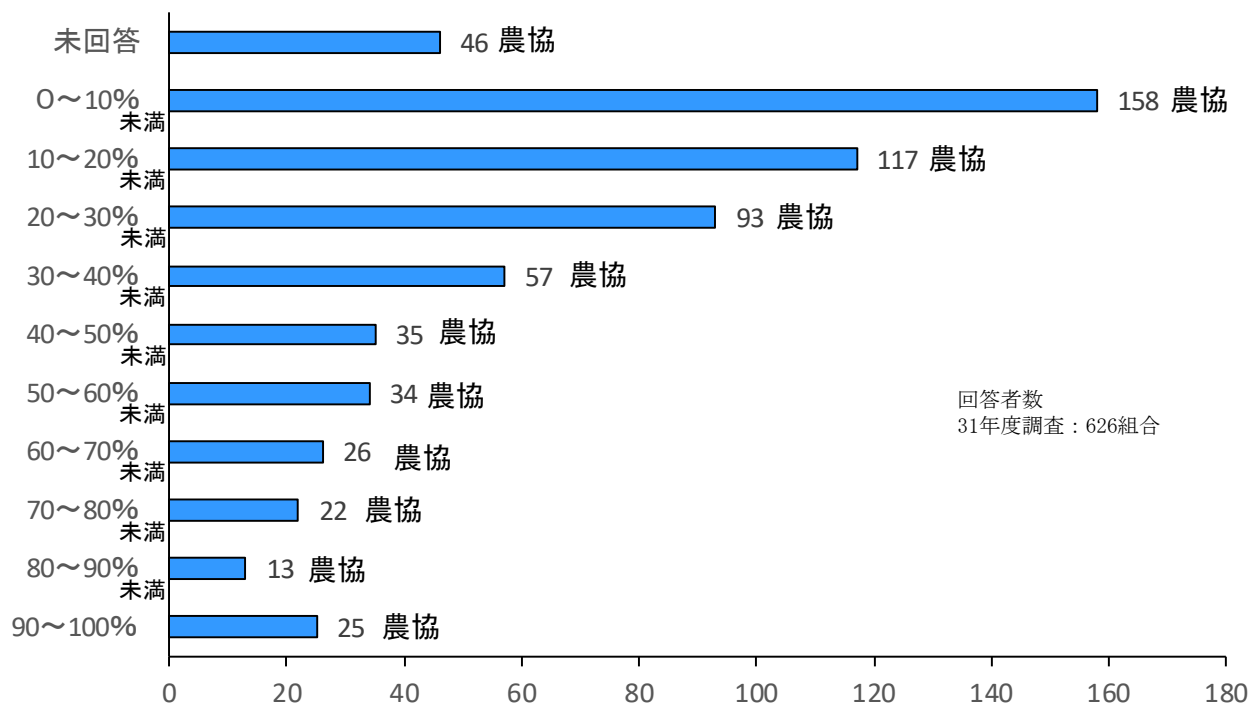
(2) 販売方式の変更等

- ① 買取販売の導入・拡大
- ② 販路、価格、単位面積当たり収益等を明示した作付提案に基づく契約販売
- ③ 実需者のニーズに応じた出荷規格・数量の設定
- ④ 共同計算販売期間や代金精算期間の短縮
- ⑤ その他



問 3－2 販売取扱高の割合

3－1（1）①～⑦と（2）①～③に「○」又は「◎」を付けた取組の販売取扱高（年間）の合計（項目が重複する取引の場合には重複分を除く）が、全体の販売取扱高に占める概ねの割合を記載して下さい。



問3-3 組合員への開示

農産物販売事業の取組による農業者の所得向上の成果（実績）について、どのように組合員へ示していますか。成果の開示方法とその内容（所得向上に係る数値を示しているか）について、該当するものに「○」を記載して下さい。

（成果の開示方法）

（成果の内容）

① ホームページ

単価の向上や販売量の増加を数値で示している

② 広報誌・チラシ

〃

③ 総代会資料

〃

④ 部会・座談会等資料

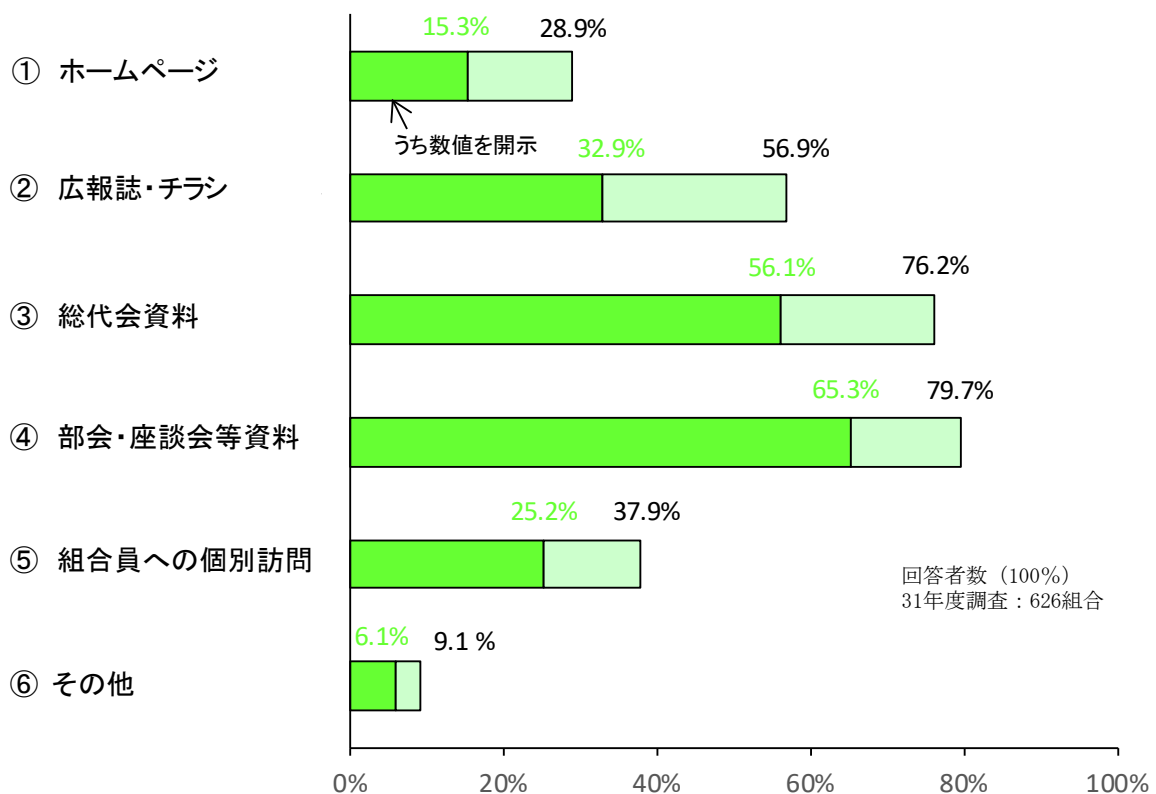
〃

⑤ 組合員への個別訪問

〃

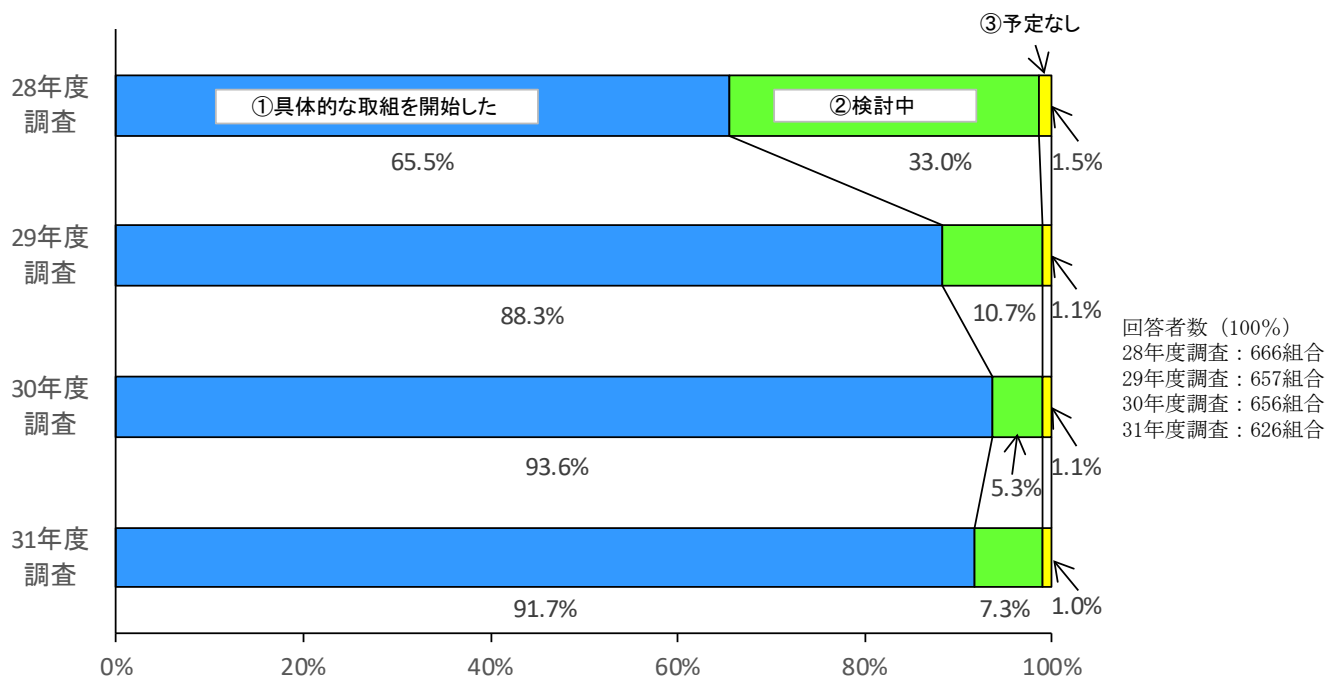
⑥ その他

〃



問4 貴JAにおいて、今般の農協改革を契機に、農業者の所得向上に向けて、生産資材購買事業の見直しを進めていますか。

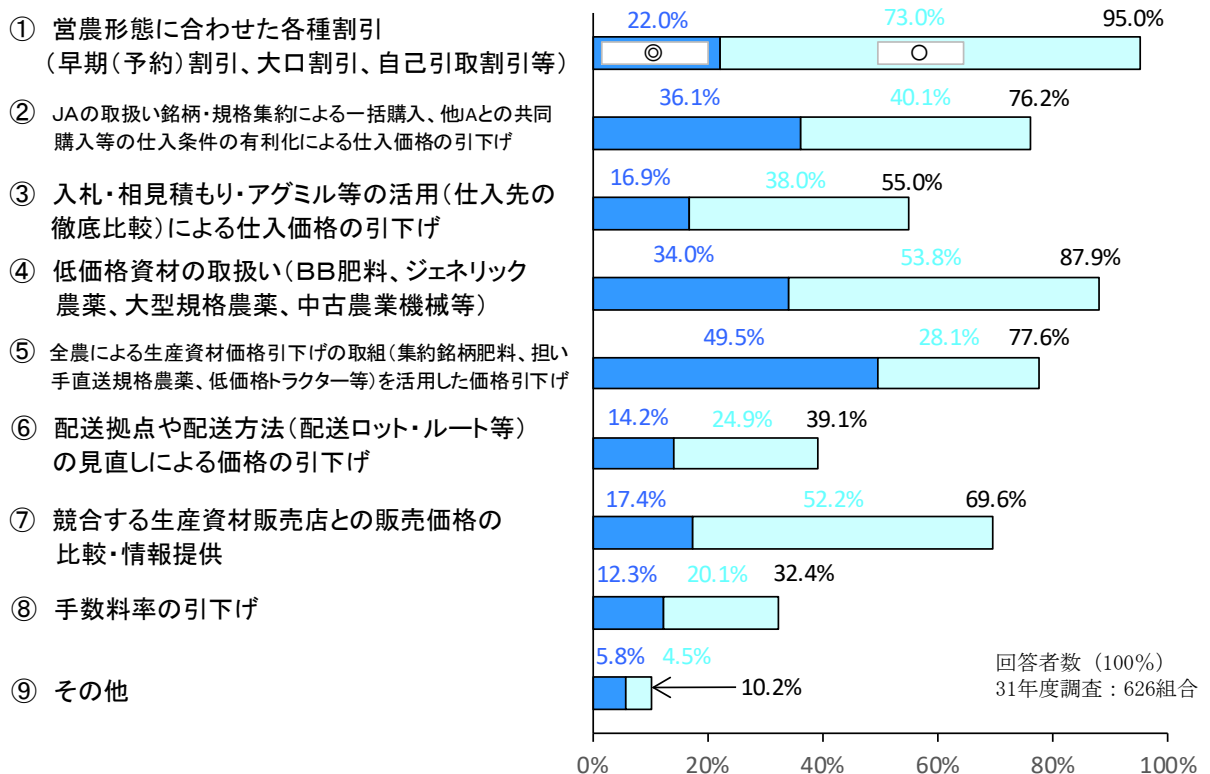
- ① 今般の農協改革を契機に、具体的な取組を開始した（又はこれまでの取組を強化した。）。
- ② 検討を行っているが、具体的な取組には至っていない。
- ③ 検討する予定がない。



問５－１ 生産資材購買事業について、農業者の所得向上に向けて、貴ＪＡはどのような取組を行っていますか。農協改革集中推進期間（平成２６年６月～平成３１年５月）より前から取り組んでいるものに「○」を、同期間中に取組を開始又は強化したものに「◎」を記載して下さい。

（１）生産資材の価格の引下げ

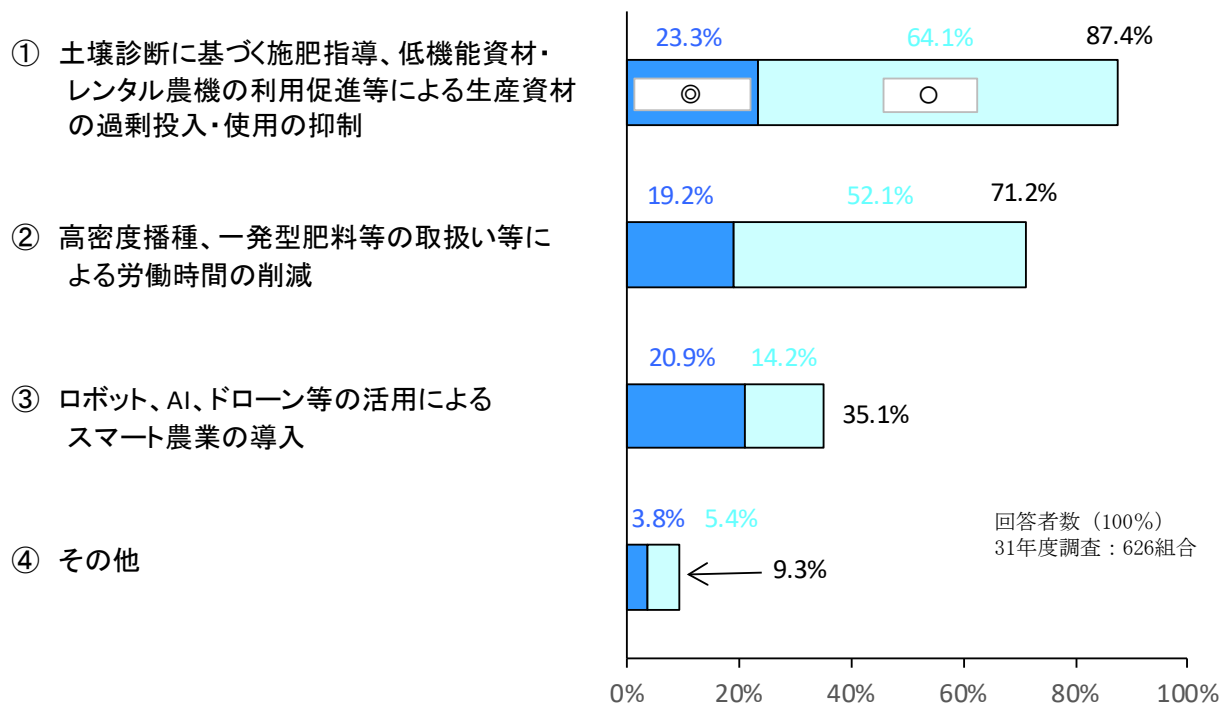
- ① 営農形態に合わせた各種割引（早期（予約）割引、大口割引、自己引取割引等）
- ② ＪＡの取扱い銘柄・規格集約による一括購入、他ＪＡとの共同購入等の仕入条件の有利化による仕入価格の引下げ
- ③ 入札・相見積もり・アグミル等の活用（仕入先の徹底比較）による仕入価格の引下げ
- ④ 低価格資材の取扱い（ＢＢ肥料、ジェネリック農薬、大型規格農薬、中古農業機械等）
- ⑤ 全農による生産資材価格引下げの取組（集約銘柄肥料、担い手直送規格農薬、低価格トラクター等）を活用した価格引下げ
- ⑥ 配送拠点や配送方法（配送ロット・ルート等）の見直しによる価格の引下げ
- ⑦ 競合する生産資材販売店との販売価格の比較・情報提供
- ⑧ 手数料率の引下げ
- ⑨ その他



問5－1

(2) 農業者のトータル生産コストの低減

- ① 土壌診断に基づく施肥指導、低機能資材・レンタル農機の利用促進等による生産資材の過剰投入・使用の抑制
- ② 高密度播種、一発型肥料等の取扱い等による労働時間の削減
- ③ ロボット、AI、ドローン等の活用によるスマート農業の導入
- ④ その他



問５－２ 組合員への開示

生産資材購買事業の取組による農業者の所得向上の成果（実績）について、どのように組合員へ示していますか。成果の開示方法とその内容（所得向上に係る数値を示しているか）について、該当するものに「○」を記載して下さい。

（成果の開示方法）

- ① ホームページ
- ② 広報誌・チラシ
- ③ 総代会資料
- ④ 部会・座談会等資料
- ⑤ 組合員への個別訪問
- ⑥ その他

（成果の内容）

価格の引下げや引下げ割合を数値で示している

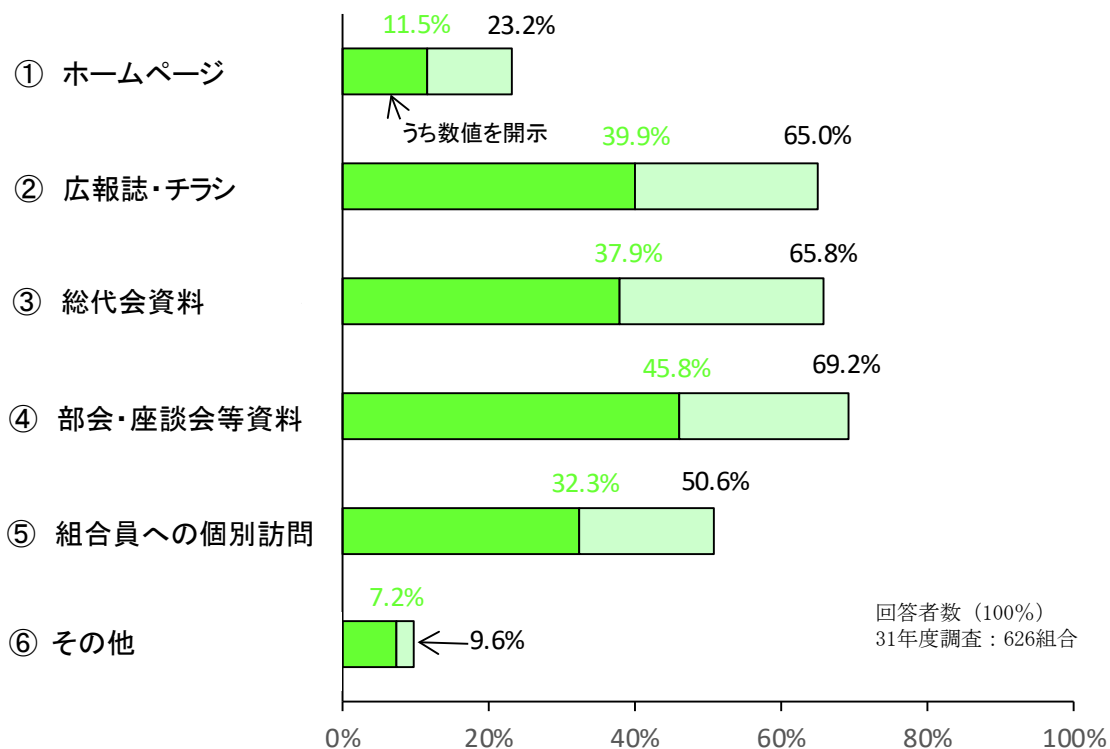
〃

〃

〃

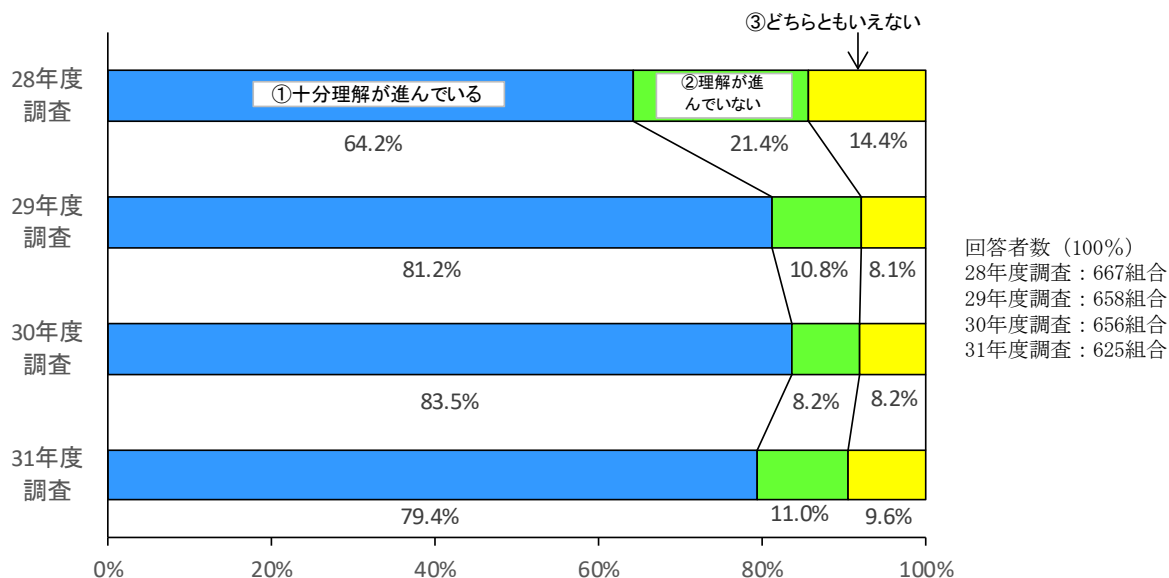
〃

〃



問6 改正農協法第7条(旧第8条)は、ＪＡが農産物を有利に販売したり、生産資材を有利に仕入れるといった取組を進めていただく趣旨ですが、このことに対する貴ＪＡ内の理解は進んでいますか。

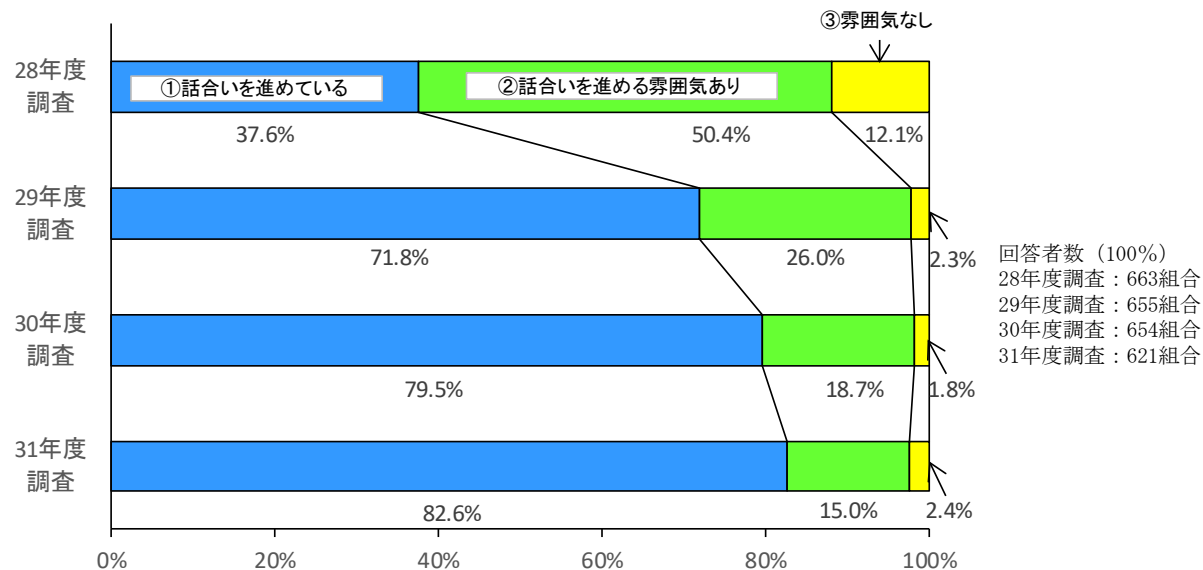
- ① 十分理解されている。
- ② まだ理解が進んでいない。
- ③ どちらともいえない。



問7 今般の農協改革を契機として、今後の連合会・中央会のあり方について、貴ＪＡと連合会・中央会の徹底した話し合いは行われていますか。

(1) 経済連・全農

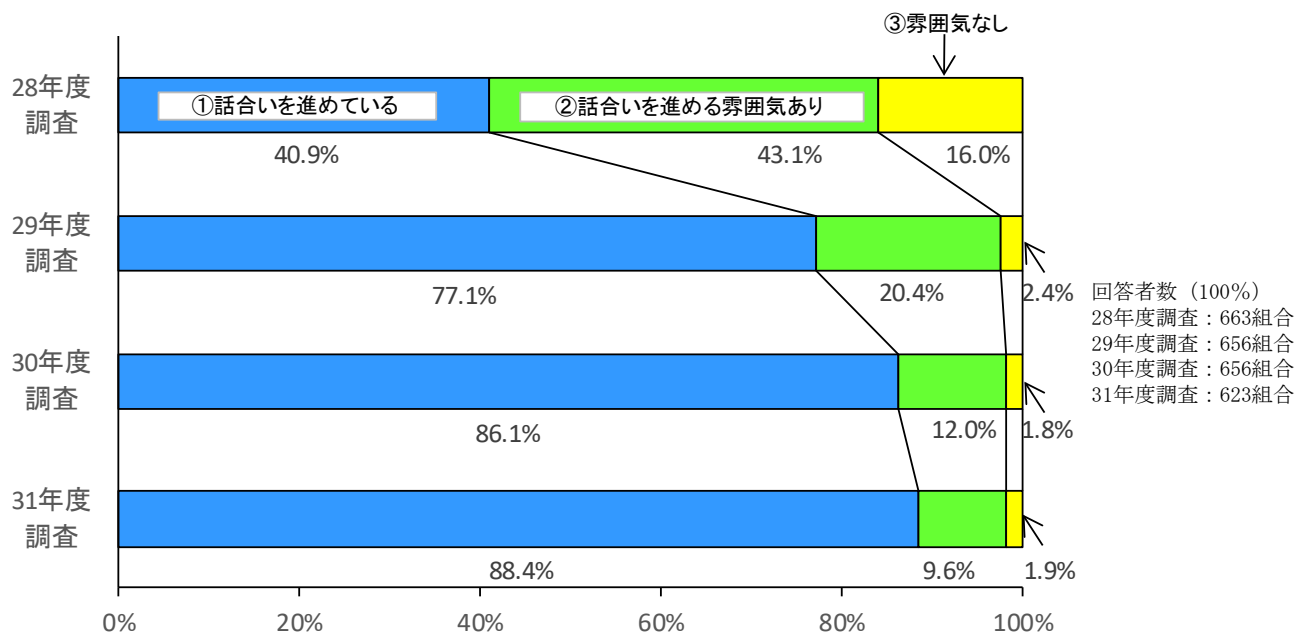
- ① 話し合いを進めている。
- ② 話し合いを進めようという雰囲気はあるが、まだ話し合いは進んでいない。
- ③ 話し合いを進めようという雰囲気がない。



問 7

(2) 信連・農林中金

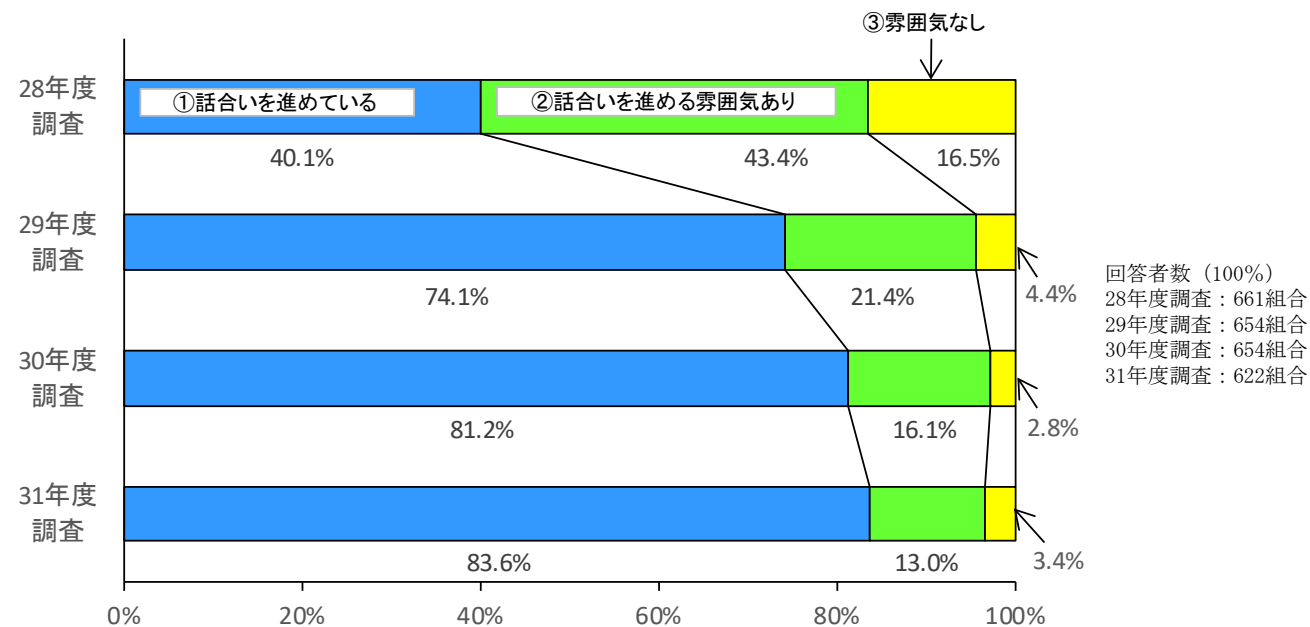
- ① 話し合いを進めている。
- ② 話し合いを進めようという雰囲気はあるが、まだ話し合いは進んでいない。
- ③ 話し合いを進めようという雰囲気がない。



問 7

(3) 全共連

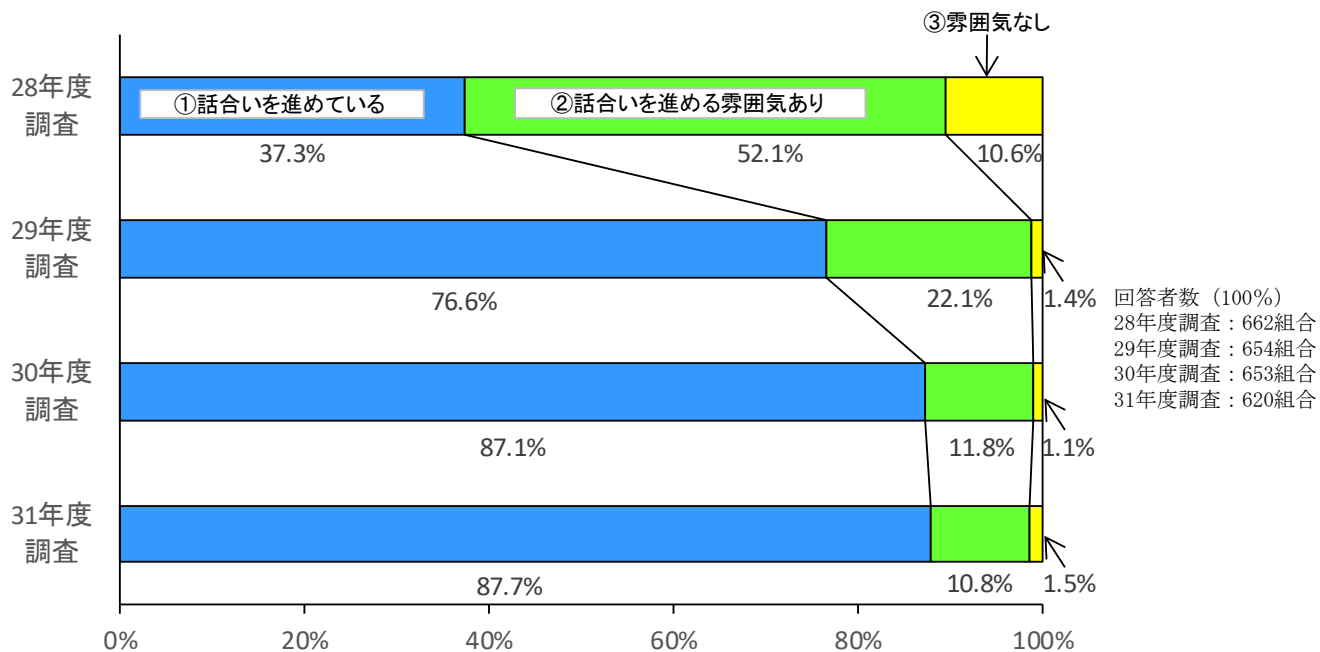
- ① 話し合いを進めている。
- ② 話し合いを進めようという雰囲気はあるが、まだ話し合いは進んでいない。
- ③ 話し合いを進めようという雰囲気がない。



問 7

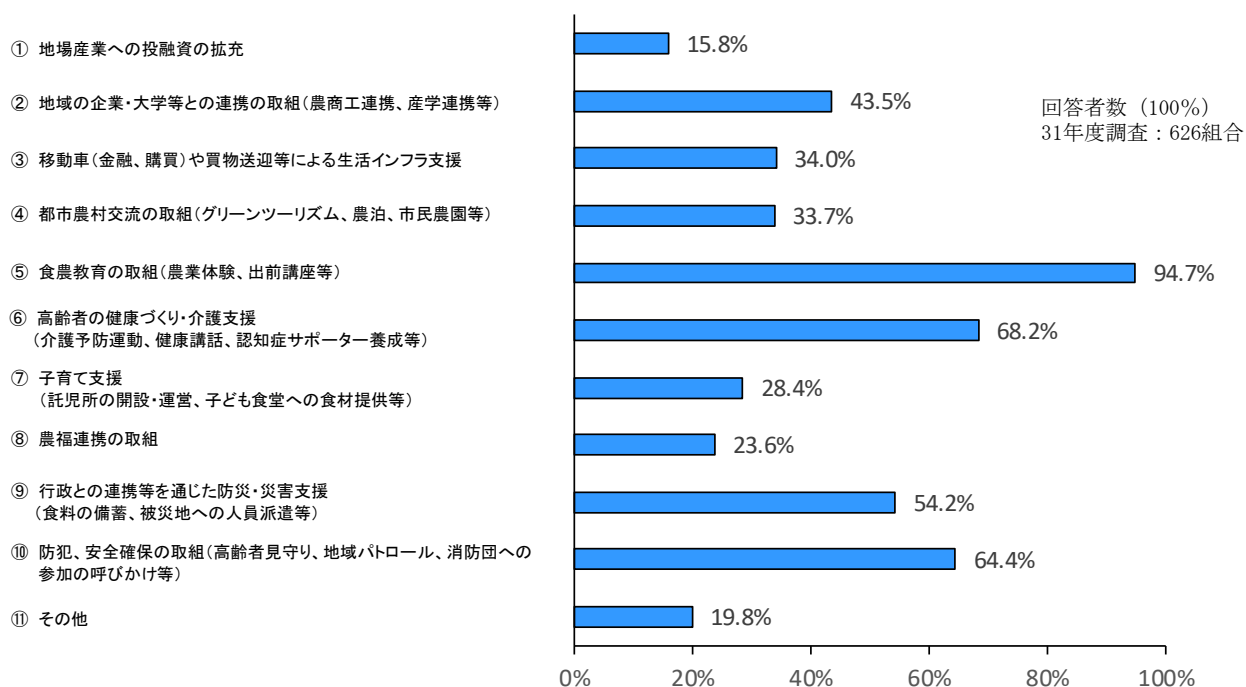
(4) 県中・全中

- ① 話し合いを進めている。
- ② 話し合いを進めようという雰囲気はあるが、まだ話し合いは進んでいない。
- ③ 話し合いを進めようという雰囲気がない。



問8 地域の活性化のために、貴JAはどのような取組を行っていますか。下記のうち、取り組んでいるものに「○」を記載して下さい。

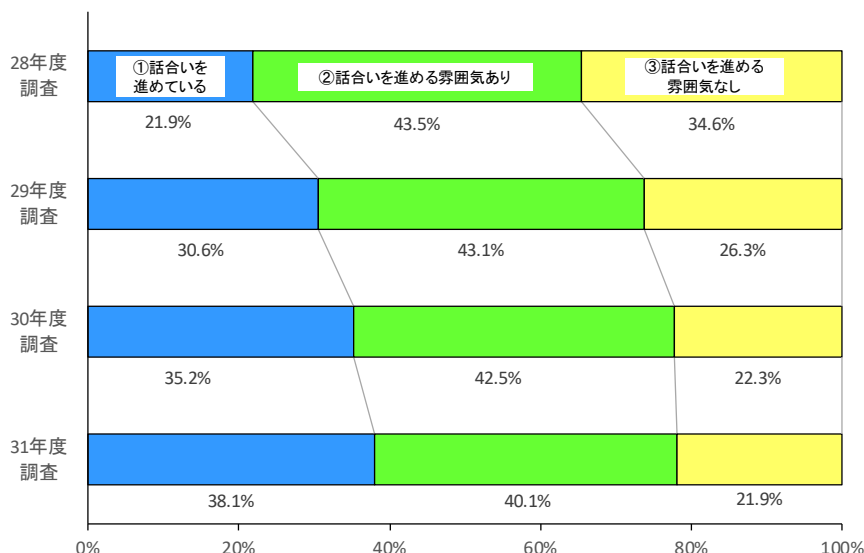
- ① 地場産業への投融資の拡充
- ② 地域の企業・大学等との連携の取組（農商工連携、産学連携等）
- ③ 移動車（金融、購買）や買物送迎等による生活インフラ支援
- ④ 都市農村交流の取組（グリーンツーリズム、農泊、市民農園等）
- ⑤ 食農教育の取組（農業体験、出前講座等）
- ⑥ 高齢者の健康づくり・介護支援（介護予防運動、健康講話、認知症サポーター養成等）
- ⑦ 子育て支援（託児所の開設・運営、子ども食堂への食材提供等）
- ⑧ 農福連携の取組
- ⑨ 行政との連携等を通じた防災・災害支援（食料の備蓄、被災地への人員派遣等）
- ⑩ 防犯、安全確保の取組（高齢者見守り、地域パトロール、消防団への参加の呼びかけ等）
- ⑪ その他



Ⅱ 認定農業者等に対する調査

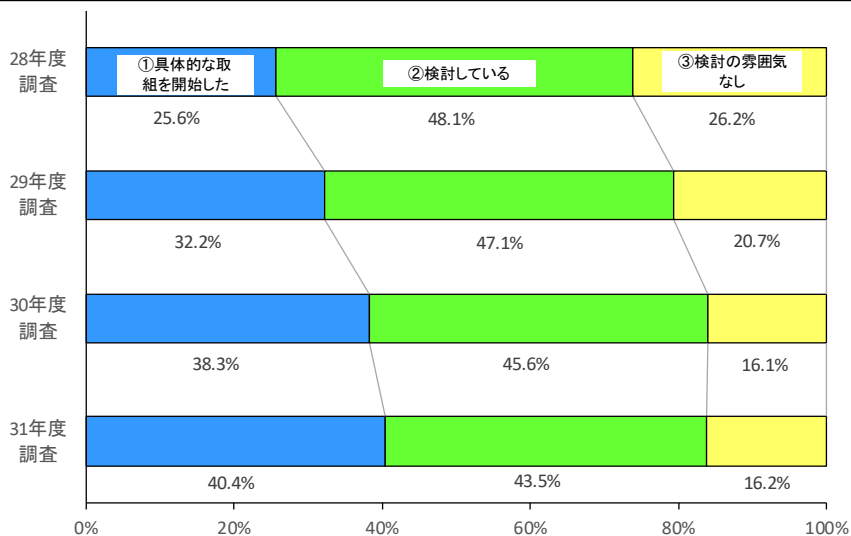
問１ あなたの地域のＪＡは、今般の農協改革を契機に、今後のＪＡの農産物販売事業の進め方や役員の選び方等について、担い手農業者の方々と徹底した話し合いを進めていますか。

- ① 今般の農協改革を契機に、話し合いを進めている（又はこれまで行ってきた話し合いを強化した。）。
- ② 話し合いを進めようという雰囲気はあるが、まだ話し合いは進んでいない。
- ③ 話し合いを進めようという雰囲気がない。



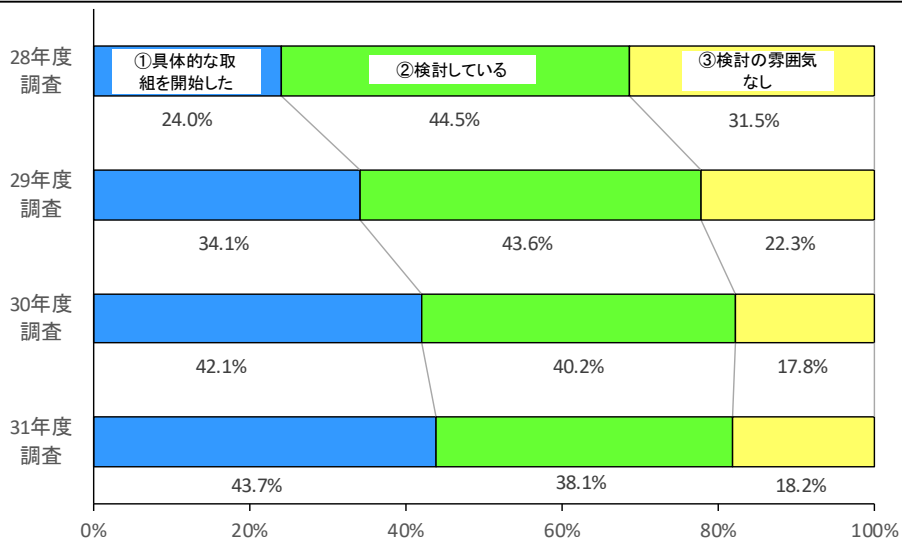
問２ あなたの地域のＪＡは、今般の農協改革を契機に、農業者の所得向上に向けて、農産物販売事業の見直しを進めていますか。

- ① 今般の農協改革を契機に、具体的な取組みを開始した（又はこれまでの取組みを強化した。）。
- ② 検討しているようだが、具体的な取組みには至っていない。
- ③ 検討している雰囲気がない。



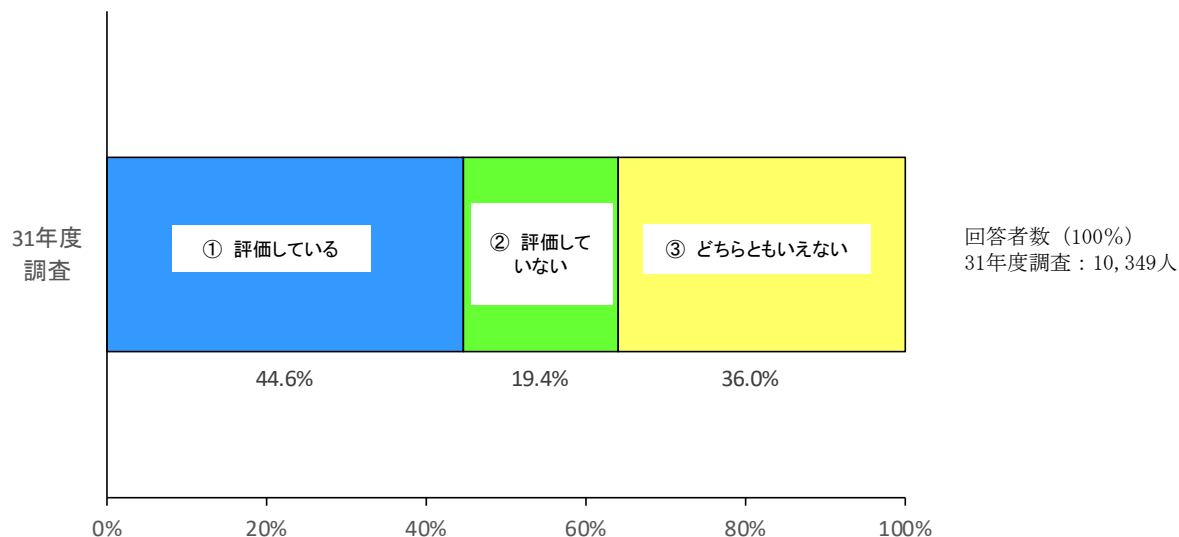
問3 あなたの地域のＪＡは、今般の農協改革を契機に、農業者の所得向上に向けて、生産資材購買事業の見直しを進めていますか。

- ① 今般の農協改革を契機に、具体的な取組みを開始した（又はこれまでの取組みを強化した。）。
- ② 検討しているようだが、具体的な取組みには至っていない。
- ③ 検討している雰囲気がない。



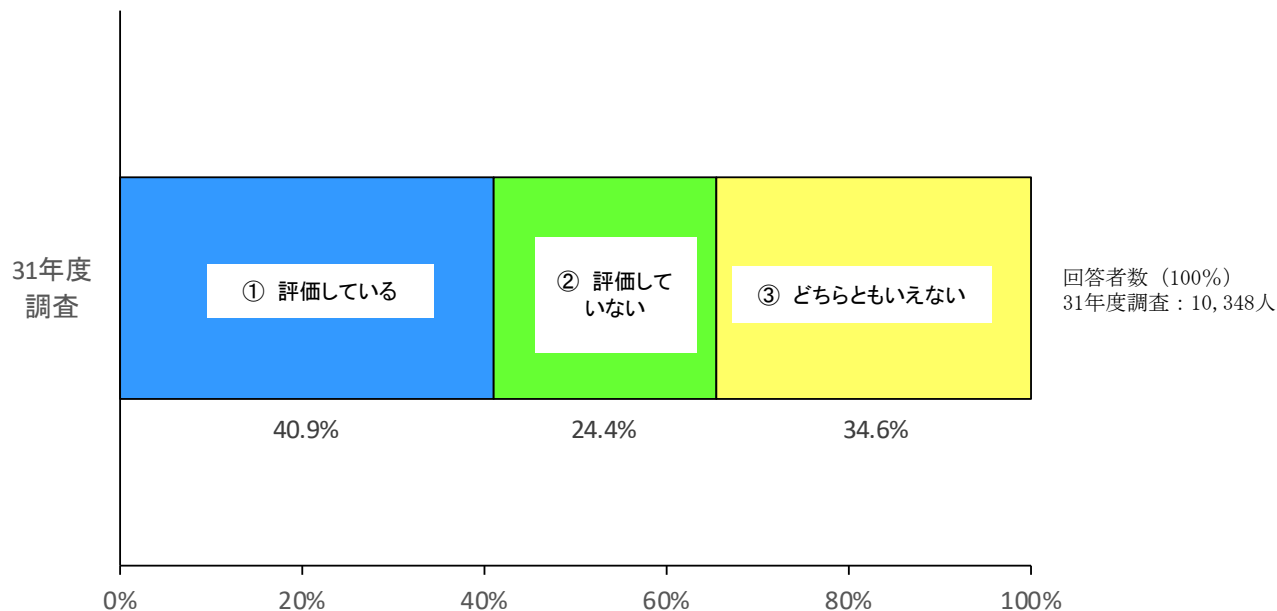
問4 農産物販売事業について、あなたの地域のＪＡの農産物販売事業改革の取組（販路の拡大、販売価格の安定・向上などの取組であり、農協改革集中推進期間が開始された２０１４年（平成２６年）６月より前からの取組を含む。）をどのように評価していますか。

- ① 評価している。
- ② 評価していない。
- ③ どちらともいえない。



問5 生産資材購買事業について、あなたの地域のＪＡの生産資材購買事業改革の取組（生産資材価格の引下げ、低コスト生産技術の普及などの生産コストの低減に向けた取組であり、農協改革集中推進期間が開始された２０１４年（平成２６年）６月より前からの取組を含む。）をどのように評価していますか。

- ① 評価している。
- ② 評価していない。
- ③ どちらともいえない。



【調査の概要】

1 調査の対象

- (1) 農協に対する調査は、全国の信用事業を行う農協（総合農協）を対象とした。
- (2) 認定農業者等に対する調査は、認定農業者を基本として都道府県が選定した者を対象とした。

2 調査方法

都道府県が郵送調査又は調査票の手交・回収等の方法により実施した。

3 調査対象者数及び回収率

(1) 農協に対する調査

区 分	対象農協数(組合)	回答農協数(組合)	回収率(%)
28年度調査	666	666	100%
29年度調査	658	658	100%
30年度調査	656	656	100%
31年度調査	626	626	100%

(2) 認定農業者等

区 分	対象者数(人)	回答者数(人)	回収率(%)
28年度調査	16,537	10,442	63%
29年度調査	17,206	10,882	63%
30年度調査	17,342	10,503	61%
31年度調査	17,977	10,671	59%

4 集計方法

各項目とも、単純集計により集計した。

5 利用上の注意

- (1) 図中の人数及び統計表の各回答者数は、各設問の有効回答者数である。
- (2) 各回答率は、各設問（各区分）の回答者数の計を100.0とする割合である。
- (3) 表示単位未満を四捨五入したため、計と内訳の積み上げ値は必ずしも一致しない場合がある。
- (4) この統計表に記載された数値を他に転用する場合は、「農協の自己改革に関するアンケート調査」（農林水産省）による旨を記載してください。

【ホームページ掲載案内】

- 上記調査結果は、農林水産省ホームページ中の「ホーム」>「経営局 農協・農事組合法人」>「農協改革について」でご覧いただけます。

【http://www.maff.go.jp/j/keiei/sosiki/kyosoka/k_kenkyu/index.html】

お問い合わせ先

◎ 本調査結果について

農林水産省 経営局 協同組織課 根本

電 話：（代表）03-3502-8111 内線：5222

FAX：03-3502-8082